

日本学術振興会賞の概要

－優れた若手研究者の顕彰・支援－

1. 事業の趣旨

我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるためには、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく必要がある。この趣旨から日本学術振興会は、平成16年度に日本学術振興会賞を設けた。

2. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学の全分野とする。

3. 推薦条件

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち、平成28年4月1日現在以下の条件を満たす者とする。

1) 45歳未満であること

2) 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む。）

3) 外国人の場合は推薦時点において我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定していること（なお、日本国籍を有する者の場合はこの条件を問わない。）

4. 推薦権者

1) 我が国の大学等研究機関の長（機関長推薦）

2) 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（個人推薦）

5. 選考方法

日本学術振興会に設置する審査会において選考する。

なお、審査会は受賞者の選考に当って、学術システム研究センターに意見を求めることができる。

6. 授賞等

授賞数は毎年度25件程度とし、受賞者には、副賞として研究奨励金110万円を贈呈する。

日本学術振興会賞受賞者の中から特に優れた者に、日本学士院学術奨励賞が授与される。

また、授賞式は日本学士院を会場として行う。

7. 第13回（平成28年度）日本学術振興会賞推薦状況

平成28年度(第13回)			前回からの候補者※1	合計※2
機関推薦	個人推薦	計		
237人(247人)	11人(11人)	245人(254人)	135人(116人)	380人(370人)

※1 本賞の推薦書は2年間有効であり、前年度の被推薦者から受賞者及び当該年度の4月1日時点で45歳を超える者を除いた者を審査対象者とする。

※2 重複推薦は1名で計上。

※3 ()内は、前年度の人数

8. 第13回（平成28年度）日本学術振興会賞日程

推薦依頼	平成28年2月5日
推薦書受付	平成28年4月11日～13日
予備審査 (学術システム研究センター)	平成28年5月上旬～10月上旬
審査会	平成28年10月31日
授賞式	平成29年2月8日

9. 日本学術振興会賞賞牌

このメダルは、形態の基本となる円、三角形、正方形を重ね合わせ「創造」を表現し、その中心に日本学術振興会のマークである長鳴き鳥を配することで、世界トップレベルの研究を発信するという趣旨のデザインをしました。

(デザイン: 東京芸術大学教授 飯野 一朗)

